

書誌第104号追

北海道沿岸水路誌

追補第5

令和4年（2022）7月29日発行



海上保安庁

北海道沿岸水路誌

追補第5

この追補は、平成31年3月刊行の北海道沿岸水路誌の記載事項を更新するもので、令和4年6月15日までに入手した資料を基に編集したものです。

追補は、更新情報を記載した「本文」と、それを検索するため、ページ番号等を記載した「索引」から構成されています。

「索引」については、更新箇所の表題や港名等を記載し、ページ番号順に並べています。

「本文」については、本追補の更新箇所は、灰色背景で赤色文字にて示しています。

【】で囲んだ内容は、削除や差し替えを行うことを意味しています。

図の挿入等によりページ内に収まらない場合は、水路誌本誌とのページ番号を整合させるため、追補においては、便宜的に枝番号を付しています。

令和4年7月29日

海上保安庁海洋情報部

注 意

海上保安庁は、各国が発布した諸法規、宣言、海図及び水路通報・航行警報並びに船舶等からの視認報告のうち、船舶交通の安全の確保と海洋環境の保全という観点から、航海の安全及び環境保全に影響を与える可能性のある情報については、水路通報及び航行警報により周知するほか、海上保安庁の海図その他の航海用刊行物にも掲載するようにしています。

これらの情報を利用するにあたっては、海上保安庁によるこれらの情報提供は、航海の安全等のための利用を目的としており、その内容は日本政府がこれらの諸法規、宣言等を承認したことを意味するものではない点に留意してください。

ページ	更新箇所(表題、港名等)	備考
15	水先人会	
22	海上保安庁の通信業務	
27	ウェブページによる情報提供	
79	室蘭港	
107	厚岸港	
193	水晶島、秋勇留島	

苫小牧水先区水先人会 TEL 0144-34-3070 FAX 0144-34-6210	1. 第 1、2、3 区入港の場合 苫小牧港東外防波堤灯台から 195° 約 2,400m 付近 2. 第 4 区（東港区 [東港]）入 港の場合 苫小牧港東港地区東防波堤灯 台から西南西方約 2.3M 付近 3. 第 4 区（出光シーバース）入 港の場合 シーバースから南東方 2~3M 付近	1. 水先を要請する者は、水先開始予定時刻の 12 時間 前までに申し込むことを原則とする。 2. 水先を要請する者は、書面、電話又はその他確実 な方法によって当水先人会合同事務所に申し込む ものとする。 3. 前項の申し込みをするときは、船名、総トン数、 全長、喫水、多層甲板船該当の有無、船舶所有者 （水先人法第 3 条）の氏名又は名称及び住所、輸 出免税等（消費税法）該当の有無、速力、積荷の 種類、水先開始予定時刻、水先区間、検疫の要否 その他必要事項を通知するものとする。 4. 乗下船設備は、IMO の要件及び IMPA の勧告に基づ くものを、波浪又はうねりの反対舷に備えるこ と。
釧路水先区水先人会 TEL 0154-52-6352 FAX 0154-52-6358	東港区 釧路港東区南副防波堤西 立標から 274° 2,100m 西港区 開発局釧路西港区島防波 堤灯台から 201° 1,600m	
留萌水先区水先人会 TEL 0164-43-4128 FAX 0164-43-4128	1. 北航路入航船 開発局留萌港西防波堤灯台から 300° 1,500m 2. 南航路入航船 留萌港西防波堤南灯台から 270° 1,500m 3. 荒天時（波浪が高く、港外に おいて水先人が乗船不可能な 場合） 留萌港西防波堤北端から 140° 300m	1. 強風時、特に冬季間は、高浪のため防波堤の外側 で乗船できないことが多いため、水先艇（タグボ ート使用）は西防波堤北端の入口付近で待機し、 本船の港内進入を待って乗船する。この時、パイ ロットラダーを左舷に用意すること。 2. 入港しようとする船舶は、天候が悪化してきた場 合には、留萌港付近の気象、海象情報等を留萌海 上保安部、船舶代理店等に必ず問い合わせること。
小樽水先区水先人会 TEL 0134-22-5380 FAX 0134-33-0228	小樽港北副防波堤灯台（赤）から 050° 0.8M 付近	入港船はなるべく検疫錨地で水先艇を待つこと。

第 7 章 警 戒

航行に関する諸注意

5 海図の基準等 海上保安庁では、乗揚げ海難の防止を図るため、航海上必要な海図の基準を設け、次の指導を行っている。

1 航海安全上必要な海図等の備え付け

日本周辺海域を航行する船舶は、下表に従い、航海を予定している海域の海図を備え付ける。

また、水路誌、潮汐表、漁具定置箇所一覧図等、航海を予定している海域の状況を把握するために必要な航海用刊行物についても備え付ける。

10

航海を予定する海域の区分	航海安全上必要な海図
日本領海以遠 (日本領海へのアプローチに係る海域に限る)	50 万分の 1 より大縮尺の海図
日本領海内	25 万分の 1 より大縮尺の海図
港則法の適用がある海域	航行を予定する海域に係る海図のうち、最も大縮尺の海図

船舶との位置通報のほか、海難に関する通信、天災・地変に際しての非常通信及び専用通信などの海上保安業務の遂行上必要な通信業務を、次の海岸局が行っている。

海岸局	識別信号	呼出名称	運用時間	電 話
小 樽	004310101	ほっかいどうほあん	24 時間	0134-27-6172
塩 釜	004310201	しおがまほあん	24 時間	022-363-0111

日本の船位通報制度

- 5 海上保安庁は、日本の船位通報制度(JASREP : Japanese Ship Reporting System) を、次のとおり運用している。

URL <https://www.kaiho.mlit.go.jp/info/jasrep/>

1 制度の概要

目 的	対象海域内の船舶からの通報によってその動静を把握することにより、当該海域における海難救助の効率化を図る。
対 象 海 域	北緯 17 度の線以北かつ東経 165 度の線以西の海域
参 加 船 舶	対象海域内にあって、次表に掲げる要領に従い通報を行うことができる船舶
参 加 方 法	この制度への参加は、次表に掲げる航海計画を送った時に始まり、最終通報を送った時に終了する。

2 通報要領

通報の種類	通 報 の 時 期	主 な 通 報 事 項
航 海 計 画	対象海域内の港から出発したとき又は対象海域に入域したとき	船名、識別信号等、出発港及び出発日時又は対象海域に入域した地点及び日時、目的港及び到着予定日時、予定の航路及び速力
位 置 通 報	航海計画又は前回の位置通報から 24 時間以内	船名、識別信号等、位置及び日時
変 更 通 報	航海計画を変更したとき	船名、識別信号等、航海計画の通報事項のうち変更した事項
最 終 通 報	対象海域内の港に到着するとき又は対象海域を出域するとき	船名、識別信号等、到着港及び到着日時又は対象海域を出域する地点及び日時

- 10 注意 (1) 航海の途中で参加を希望するときは、航海計画を通報することにより参加できる。また、航海の途中で参加を終了したいときは、最終通報を通報することにより終了することができる。
- (2) 米国の船位通報制度 AMVER 参加船で JASREP への参加を希望する船舶は、AMVER 通報の Y 項目に JASREP と記入すれば自動的に参入することができる。また、JASREP 参加船で AMVER への参加を希望する船舶は、JASREP 通報の Y 項目に AMVER と記入すれば自動的に参入することができる。
- 15 (3) 気象庁に気象通報を行っている船舶については、希望により JASREP の位置通報を省略することができる。この場合、海上保安庁では気象通報を JASREP の位置通報とみなす。

この取り扱いを希望する船舶は、航海計画、変更通報及び最終通報の X 項目に [OBS] を表示すること。

3 通報の方法及び通報先

- 20 無線通信 (海上保安庁の指定海岸局)、電子メール、テレックスによる通報のほか、最寄りの海上保安部署への書面の提出又は、電報、電話による通報も受け付けている。

海上保安庁警備救難部管理課運用司令センター

電子メールアドレス jasrep@jcgcomm.jp

テレックス番号 72 222 5193 JMSAHQ J

回又は随時提供している。

航 行 警 報

NAVAREA XI 航行警報 世界航行警報業務の規定に基づく第 XI 区域(北太平洋西部及び東南アジア海域)に係る船舶交通の安全のために、緊急に通報を必要とする情報をインマルサット静止衛星を利用した EGC システム(高機能グループ呼び出し)により提供(英語)しているもので、専用の自動受信機により情報を入手できる。また、この情報はウェブページでも提供できる。

特に緊急性の高い情報(海底火山活動、機雷漂流、人工衛星等飛行物体の落下、航路障害物の存在等)については、随時送信している。

NAVTEX 航行警報 日本の沿岸約 300M 以内の区域に係る船舶交通の安全に必要な情報のうち、緊急に通報を要するものを NAVTEX 放送により提供しているもので、専用の自動受信機により情報を入手することができる。また、この情報はウェブページでも提供している。

この水路誌記載区域における放送スケジュールは、次表のとおりである。

海岸局	識別符号	種 別	電波の型式・周波数	定時放送開始時刻 (JST)
釧 路	K	日本語	F1B 424kHz	0208 0608 1008 1408 1808 2208
		英 語	F1B 518kHz	0240 0640 1040 1440 1840 2240
小 樽	J	日本語	F1B 424kHz	0151 0551 0951 1351 1751 2151
		英 語	F1B 518kHz	0230 0630 1030 1430 1830 2230

地域航行警報 管区海上保安本部の管轄区域及び海上保安部の担任水域並びにその付近海域を航行する船舶の安全のために、緊急に通報を必要とする情報を、最寄りの海岸局から無線電話で提供(日本語又は英語)している。また、ウェブページでも提供している。

海岸局	呼出名称	電波型式及び周波数	再送信開始時刻(JST)
小 樽	ほっかいどうほあん	F3E 156.8MHz	10時25分00秒 16時25分00秒

日本航行警報 太平洋、インド洋及びその周辺海域を航行する日本船舶の交通安全のために、緊急に通報を必要とする情報を、ウェブページで提供している。また、(一社)共同通信社の船舶向けファクシミリ放送及び(一社)全国漁業無線協会の漁業無線局からも提供している。特に緊急性の高い情報(海底火山活動、機雷漂流、外国紛争行為、人工衛星等飛行物体の落下、その他船舶に緊急かつ重大な危険を及ぼす恐れのある事項)については、随時ウェブページに掲載している。

ウェブページによる情報提供

水路通報、航行警報、灯台表第 1 巻追加表及び水路誌追補は、ウェブページでも入手できる。

水路通報 URL <https://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/tuho/nm.html>

航行警報 URL <https://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/keiho/navarea11.html>

灯台表第 1 巻追加表 URL https://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/shoshi/toudai/j_toudai.html

水路誌追補 URL <https://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/shoshi/tsuiho/supplement.html>

各管区海上保安本部及び部署等では、航海の安全情報及びイベント等の最新情報をウェブページでも提供している。

医療施設

名 称	電話番号	名 称	電話番号
市立室蘭総合病院	0143-25-3111	製鉄記念室蘭病院	0143-44-4650
日鋼記念病院	0143-24-1331		

~~海上交通 八戸港との間にカーフェリー便 (7,005 t) がある。~~

5

追直《オйнаオシ》漁港 (42° 18' N 140° 58' E) (海図W14)



(2017年10月撮影)

概要 チキウ岬 (42° 18.0' N 141° 00.1' E) の西北西方約 1.5Mにある港である。ニラス岩 (42° 18.3' N 140° 58.2' E) の北側至近にある東防波堤 (西端に赤灯がある)、同岩から西方に延びる西防波堤及び西防波堤の北西方にある島防波堤 (南端に灯台がある) の各防波堤に囲まれ、西方に開口している。港口を中心に東、西に分かれ、2船だまりがある。港内の底質は、岩及び砂で錨泊には適さない。-3m岸壁西北西方約 400mに人工島及び同島へ連絡する橋梁がある。

10

目標

地物名	概 位	備 考
著 屋	42° 18.5' N 140° 58.3' E	中央卸売市場

港湾施設

名 称	概 位	長 さ (m)	水 深 (m)	係船能力 (D/W×隻)	備 考
-3m岸壁	42° 18.5' N 140° 58.0' E	190	3	-	西側船だまり
-5m岸壁	42° 18.5' N 140° 58.4' E	延長 380	5	-	東側船だまり
-6m岸壁	42° 18.4' N 140° 58.4' E	延長 180	6	-	

15

補給 清水、燃料油の補給ができる。

目標

地物名	概位	備考
著屋	43° 01.2' N 144° 50.2' E	北海道大学臨海実験所、クリーム色
無線塔	43° 03.3' N 144° 50.7' E	高さ41m、銀色、パラボラアンテナ

針路法 大黒島南端を西に約0.7M離して340°の針路で厚岸湾に入り、アイカップ埼を正横に見る所から000°に変針してバラサン埼(43° 01.9' N 144° 50.1' E)の西方に進み、以後は航路標識に従って掘り下げ水路に入る。

港湾施設

名称	概位	長さ(m)	水深(約m)	係船能力(D/W×隻)	備考	
湖北岸壁	-2.5m岸壁	43° 03.1' N 144° 50.7' E	132	0.5~2	—	岸壁の西側からの順
	-3m岸壁	43° 03.0' N 144° 50.8' E	200	2~3.5	—	
	-4m岸壁	43° 03.0' N 144° 50.9' E	200	3.5~4	—	
	-5m岸壁	43° 03.0' N 144° 51.1' E	306	3.5~4	—	
若竹岸壁-3m岸壁	43° 02.7' N 144° 50.8' E	276	1.5~2.5	—		
第1ふ頭	-4m岸壁	43° 02.7' N 144° 50.7' E	290	2~4	—	第1ふ頭北東側
	-6m岸壁	43° 02.7' N 144° 50.6' E	105	6	—	第1ふ頭の先端
	-5m岸壁	43° 02.6' N 144° 50.6' E	240	4~4.5	—	自動給氷機3基、南西側先端部
第2ふ頭	-6m岸壁	43° 02.5' N 144° 50.4' E	355	4~6	—	
	-5m岸壁	43° 02.4' N 144° 50.2' E	190	5	—	
	-4.5m岸壁	43° 02.3' N 144° 50.4' E	245	4	—	

架橋 厚岸湖口をまたぐ厚岸大橋(高さ2.7~9.9m; 43° 02.8' N 144° 51.2' E)がある。

台風・津波対策 台風・津波等による海難事故を防止するため、厚岸港及び霧多布港津波・台風等災害対策連絡会が設置されており、在港船舶などに対し、情報の伝達及び警戒体制・避難・入港制限の勧告・解除等の災害防止措置を指導している(問い合わせ先: 釧路海上保安部 TEL 0154-21-5515)。

補給 清水及び燃料油の補給ができる。給油船がある。

15

医療施設

名称	電話番号
町立厚岸病院	0153-52-3145

20

厚岸湾口~浜中湾口(海図W26)

概要 厚岸湾口の末広埼から散布埼までの約7M間の海岸は、高さ100m前後に侵食され、屈曲したがけの海岸が多い。前面の水深は、厚岸湾口付近は浅いが東側は深く、距岸0.5M以遠に險礁はない。

帆掛岩	43° 34.3' N 146° 24.6' E	高さ21m、奇形の突起で、北西方又は南東方からは帆を張ったように見える。
カブト島	43° 34.5' N 146° 25.8' E	多楽島南島方にある4個の岩小島の総称で、その最北西の小島をローソク岩（高さ36m）といい、とがっていて遠望顕著。その南隣の島は高さ42m
カナクソ岩	43° 36.0' N 146° 25.9' E	多楽島南島方にある互いに密接した3岩から成る。南岩は高さ26mで、東・西方向に抜ける大きな洞窟がある。

水晶島 (43° 26' N 145° 55' E) (海図W8)

概要 水晶島周辺には水上岩及び暗礁が多い。同島の北東端にあるトッカリ埼 (43° 27.3' N 145° 57.0' E) の北東～東方にかけての沖合には水深10m以下の暗礁が広がっており、この埼の北東方約1.2Mに水深4.5m、同じく東方約1.6Mには水深2.5mの暗礁がある。また、この埼と志発島の相泊埼とのほぼ中間にも水深2.8mの暗礁 (43° 30.0' N 146° 00.6' E) がある。

水晶島の南岸にある三角埼 (43° 25.5' N 145° 57.3' E) から大埼 (43° 25.0' N 145° 54.0' E) にかけての距岸約0.8M以内は岩礁が広がっており、三角埼の西南西方約1.5Mには飛礁 (43° 24.9' N 145° 55.4' E、暗岩の礁脈) がある。

水晶島の西岸には、弁才泊湾 (43° 26.3' N 145° 53.4' E) があり、西から南西にかけての開湾となっているが、湾奥のほぼ中央には距岸約0.5Mまで延びる礁脈があるので、湾内に進入するときは注意する必要がある。

弁才泊湾の南隣には、ボキセンベ湾 (43° 25.2' N 145° 54.0' E) がある。ボキセンベ湾は南西方へ開き、湾内の水深は8m以下、底質砂で錨かきが良い。北東寄りの風を避けることができるため、小型船の避泊に適している。同湾の湾奥中央部には険しいがけの小さな岬があり、その両側は礫浜だが湾奥北半分は砂浜になっている。湾口北西部側には、バラ島 (43° 25.3' N 145° 53.6' E、高さ4.9m) がある。

潮汐 水晶島付近における平均高高潮は1.3m、平均低低潮は0.3m、平均水面は0.90mである。

秋勇留島 (43° 22' N 146° 00' E) (海図W8)

概要 秋勇留島の北東端にある茂尻埼 (43° 22.7' N 146° 01.3' E) から北方へ約0.4M延びる礁脈があり、礁上には多くの水上岩がある。同島の西端にある穴間埼 (43° 22.0' N 145° 59.3' E) の西北西方約0.6Mに暗礁がある。また、穴間埼の南西方約0.3Mに水深3.2mの暗礁がある。

中ノ瀬 (43° 22' N 145° 57' E) は、穴間埼の西方約1.7Mにある険礁で、水深5m以下の浅所は東から西方向へ約0.8Mにかけて広がり、礁上に数個の干出岩がある。

ハナレ岩 (43° 20.4' N 146° 00.8' E、高さ1.2m) は、秋勇留島南端の南方約1.2Mにある水上岩で、同岩の北方約0.4Mに水深3.7mの暗礁がある。

水晶水道 (43° 25' N 145° 59' E) (海図W8)

概要 水晶島と勇留島との間の水道で、最狭部の幅は約3M、水晶島側に広い浅水地があり、また、所々に暗礁があるほか、水道内には、トッカリ埼の東方約1.6Mにある水深2.5mの暗礁及びその東方約3.1Mに水深4.8mの孤立礁などがあるので、小型船以外は通航を避けるほうがよい。

潮流 水晶水道内の潮流は、三角埼の南東方約2Mにおける観測結果によれば、低潮時の約3時間後から高潮時の約3時間後までは西方へ、高潮時の約3時間後から低潮時の約3時間後までは東方へ流れる。最